

能生中学校だより



三一録

令和4年11月24日

11月号

糸魚川市立能生中学校

☎ 949-1352 能生2643

☎ 025-566-2065



能生中ホームページ <http://www.itoigawa.ed.jp/nou-jhs/>

当校では、11月を人権教育、同和教育の強調月間として全校体制で取り組んでいます。以下の抜粋を強調月間の視点でご覧いただくとつながる部分があると思います。よろしくお願いいたします。

能生中トピックスから (能生中ホームページから抜粋)

全校道徳 平和学習 糸魚川市広島派遣事業
北方領土近隣地域研修報告会



夏休み中にホームページでも紹介しました、コロナ禍で3年ぶりの開催となった糸魚川市主催の広島派遣事業の報告会と本校教員が参加した北方領土近隣地域研修の報告会を先週末行いました。

広島派遣事業は、糸魚川市内の中学2年生11名が広島平和記念式典に参列したり、戦争にまつわる歴史的な史跡や博物館を見学したりしながら、平和学習を深める事業です。能生中からは2名の女子が参加しました。

今回の報告会では軍事関連の歴史博物館での見学から、若くして戦死された特攻隊の方々の様子も伝えてくれました。

平和式典への参列の感想や平和公園の建造物、原爆資料館の資料から、二度と戦争を起

こしてはならないという強い意志を全校生徒に語ってくれました。また、今年度の派遣事業では、全校で割り当てられた数の折り鶴しか用意しませんでした。来年度は能生中学校として、毎月『平和の日』を制定するなどして全学級で千羽鶴を用意したいという希望も全校生徒に提案してくれました。

学びを自分たちのアクションへと繋げていく素晴らしい報告でした。



北方領土近隣地域研修の報告は、「北方領土問題と人間の安全保障」と題して、北方領土問題を人権問題の視点で捉えた内容でした。

報告者が実際にお会いした元島民の方のお話を生徒に伝えると、生徒はみな真剣な表情で聞き入っていました。「教科書では1行で済まされてしまう北方領土問題ですが、もっと子どもたちに知ってほしいと願っていま

す。」という元島民の方の言葉は、生徒だけでなく教職員の心にも響いたようでした。

また、北方領土問題では多くの人々の命と生活が脅かされたとして、すべての人々が安心して生きることができ、さらにその生活が人間らしいものであることを目指す「人間の安全保障」という概念について説明がありました。さらに、この「人間の安全保障」を確保するために、全世界で現在行われている具体的な取り組みがSDGsであることに触れ、私たちがこの問題から学び、正しく理解することやすべての人の人権を大切にすること、互いを理解し、目標達成に向けて協力することを大切にすることが北方領土問題の解決につながるのではないかと報告をまとめていました。

2つの報告は生徒たちの心に大切に刻まれたと思います。自分たちができること、自分たちだからやれる、そんな小さなことから平和を考える一歩を歩みたいと思います。

児童虐待防止推進月間の取組から



11月は「児童虐待防止推進月間」です。これについて、文部科学大臣より児童虐待の根絶に向けたメッセージが発信され、文部科学省のホームページに掲載されています。ぜひ一度ご覧いただきたいと思います。

下記のリンク先からQRコードを読み取っていただくか、下のURLをコピーしてアドレス欄に貼り付けてください。「文部科学大臣 メッセージ 児童虐待」でも検索できます。

○ 全国すべての子供たちへ

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sei_toshidou/1422396_00002.html

○ 保護者、学校関係者、地域の皆さまへ

「児童虐待の根絶に向けて～地域全体で子供たちを見守り育てるために～」

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sei_toshidou/1422396_00001.html

糸魚川市では、児童虐待防止啓発活動の一環として糸魚川市教育委員会の方4名と糸魚川市のマスコットキャラクターの『ぬーなちゃん』が来校してくれました。

1日の朝、中学生には、相談窓口が印刷されたティッシュも配布され、啓発活動を行ってくれました。突然の来校者に生徒たちにもニコニコ笑顔が広がっていきます。多くの生徒が『ぬーなちゃん』とハイタッチをして教室へと向かっていきました。

きっと一日良いことがあったことでしょう。

配布されたティッシュの中には、困った時の連絡場所もしっかりと印刷されています。この電話を使わずに済むことが一番ですが、生徒たちには大切なお守りとなりました。困った時に気軽に相談できる場所があるということは大きな安心にもつながります。子育て等で困った時には、保護者の皆さんも学校や相談施設に連絡してみてください。

朝早くから活動していただいた市教委の皆さん、ぬーなちゃんありがとうございました。

能生中学校区では、11月28日にいじめ見逃しゼロスクール集会を全校生徒と校区5小学校の6年生や学校によっては5年生と開催します。今年度は新潟お笑い集団NAMARAの森下英矢さんを講師に招いて講演をもらったり、小・中学生合同でのグループ協議を開催する予定です。また、地域の人権擁護委員、民生委員児童委員等の方々にも参加してもらいます。

能生中学校区では、人権教育を充実させ、いじめや差別を許さない環境づくりを地域と進めていきます。

地域を明るくする運動 駅前挨拶運動

無事終了

今年度計画されていた『地域を明るくする運動 小・中・高、地域合同挨拶運動』が無事に終了しました。

2年前の春、新型コロナウイルス感染症の大流行の中、疲弊している故郷能生に何かできないか生徒の目線で生徒会が考えて始めた運動も3年目。小春日和の暖かな陽射しを受けて最終日を迎えました。

近隣の小学校からは、児童会生活委員会の5, 6年生9名が3日間元気に参加してくれました。また、PTAの子供育成部の保護者の方からも、担当の先生が準備していただいた登り旗を片手に大きな声で挨拶運動に参加してもらいました。

高校からは、2, 3年生の生徒会役員の皆さんが参加です。途中2年生が修学旅行で運動できない間、進路実現に忙しい中でしたが、3年生だけが活動してくれました。この活動を最後に、今後決定される1, 2年生の役員に引継ぎをされるそうです。

それぞれの学校の校長先生、教頭先生、担当の先生方から参加をいただき、無事に活動を終了することができました。ありがとうございました。



地域からは、まちづくり協議会、町内会長会、保護司会の方々や能生中学校のPTA本部役員の方からの参加がありました。回を増すごとに多くの参加をいただきました。

中学校の参加者は、任意のボランティアで

したが、生徒会役員を中心に3年生はもちろん、1, 2年生からもたくさんの参加がありました。また、登校途中にカバンを置いて運動に参加してくれる様子も見られました。着実にSNGsの精神が受け継がれていることに確信をもてました。

最後に生徒会長が活動を締めくくり、中学生が中心となって行ってきた『地域を明るくする運動』が能生地区を活性化させていることがわかる活動となってきたことへの感謝と共に、来年度以降の更なる発展への協力も依頼しました。

例年より半月遅れの開催でしたが天候に恵まれたおかげで、最終日も75名を超える過去最高の参加者でした。挨拶の輪が今後も広がっていくことを祈っています。運動に参加いただいた皆様に感謝いたします。

社会同和教育市町村巡回研修会が能生地区で開催

11月9日、新潟県教育委員会主催の社会同和教育市町村巡回研修会が開催されました。この研修会は、同和問題をはじめとした身の回りにある人権問題について理解を深め差別解消のための実践の推進を図ることを目的としています。

上越・中越・下越地区それぞれで市町村を巡回しながら毎年開催されており、今年度の上越地域の開催地は糸魚川市で、能生生涯学習センターを会場としての研修会でした。能生地区及び糸魚川市内の人権擁護委員の皆様、学校関係者を中心に50名程の参加がありました。

「能生中学校区の取組紹介」では、5つの小学校の実践及び中学校の実践、小中学校で連携した取組を紹介しました。

能生中学校区では、小学校・中学校の9年間を見通した同和学习の授業の配当一覧を昨年度に完成させ、それを基に修正を加えながら、中学校入学時には同じ土台に立って同和学习を始められるように配慮しています。

小学校では、同和教育、人権教育の授業力

の向上に力を入れ、授業研究や講師を招いての模擬授業を積極的に行っています。また、5・6年生が参加した「中学校区いじめ見逃しゼロスクール集会」の内容を下級生に伝達する活動、小規模校の良さを生かした全校生徒での会議、飼育活動など、各小学校で工夫を凝らした実践が行われていることも紹介されました。

中学校では、同和教育副読本「生きる IV」を活用し、部落問題の社会的背景、結婚差別、就職差別など、部落問題学習を中心に学習を進めています。また、学校図書館では同和問題、差別問題に関する資料の充実を図っています。今回の研修会では、1年生の授業で、外部講師を招いて、結婚差別と部落問題について考えた実践を紹介しました。



研修会の最後には、上越地区社会教育委員連絡協議会長 保坂和彦様の講話「正しく理解し 差別をなくす」を拝聴しました。

講演では、小学校の社会科教科書で「部落問題」がどのように教科書に掲載されているか紹介され、小学生の皆さんが部落問題をどのような形で学んでいるか知る機会となりました。また、日本赤十字社による「新型コロナウイルスの3つの顔」が紹介されました。

「(コロナウイルス感染症という)病気が不安を生み、不安が差別を生み、差別がさらなる感染の拡大につながる」。世の中のいろいろなことが「差別」につながりうるからこそ、差別をしないためにはどのようにすればいいか、改めて考えさせられました。

能生中学校では、今後も、人権教育、同和教育の学びの様子をこのホームページやたよりで発信していきます。ご家庭でも、同和問題、人権についてお子さんとお話ししていただけるとありがたいです。

令和4年度 12月行事予定			
日	曜日	年間行事	給食 部活
1	木	⑥生徒会選挙	○ ×
2	金		○ ○
3	土	数検	
4	日		
5	月	全朝 ⑤がん教育(2-12体)放:学習展示作業~	○ ×
6	火		○ ○
7	水	期末面談	○ ○
8	木	期末面談	○ ×
9	金	期末面談	○ ○
10	土	県アンコン(上文)♪12:06・12:12	
11	日		
12	月	朝:学習展示撤収★短縮①②	○ ×
13	火	生朝	○ ○
14	水		○ ○
15	木	専門委員会	○ ×
16	金	市生徒会交流会(リモート)16:00~17:00	○ ○
17	土	全国駅伝	
18	日	全国駅伝 県アンコン(上文)	
19	月	⑤性教育普及事業	○ ×
20	火		○ ○
21	水		○ ○
22	木	⑤⑥香港交流(3年英語)	○ ×
23	金	①終業式 ②学活 ③④⑤大清掃・球技大会	○ ×
24	土		
25	日		
26	月	市生徒会交流会9:00~12:00:系魚川中	
27	火		
28	水		
29	木		
30	金		
31	土		